



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り  
第 64 号  
2018年7月20日  
編集兼発行人  
谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



## 白アジサイの中を歩く

撮影者：若島 喜和

撮影日：平成 29 年 6 月 23 日

カメラ：キャノン EOS 40D

S 速度 1/100、絞り f22、焦点距離 40mm

撮影場所：保和苑(水戸市松本町)

撮影余話：昨年のアジサイ開花時期に合わせてデジカメクラブの撮影会が行われました。保和苑は水戸市内のアジサイの名所で、手前の白いアジサイがアナベル、その後ろはスモークツリーというウルシの仲間だそうです。白いアジサイが、雲を飛行機の窓から眺めているように見え、白い雲の中を人が歩いている様子をイメージして写真を撮りました。

## 第 116 回 茨城支部総会

1. 日 時：2018年5月25日(金)11:10~14:30
2. 場 所：ホテル天地閣(日立市)
3. 出席者：109名(含招待者2名)
4. 総 会：佐藤副支部長の司会で、以下の通り盛会の内に進められた。

①物故者への黙祷：残念ですが昨年度 34 名の方が亡くなられ、黙祷を捧げてご冥福をお祈りした。

②支部長挨拶：住川支部長より、現在世の中の動きが不透明で新しい時代へのトランジェントの状況にある。このような我々を取り巻く新しい時代に対応して、茨城支部及び同好会の活動をさらに活発にしていきたいましようのご挨拶をいただいた。



住川支部長ご挨拶

③支部活動報告：佐藤副支部長より、支部及び理科クラブの活動状況・2017 年度の特記事項・会計報告・2018 年度支部組織・今後の検討課題等について報告があった。

④同好会活動報告：河島同好会幹事長より、各グループの活発な活動状況について写真を使って報告があった。

⑤監査報告：谷口監事より、支部及び同好会の決算報告について適正である旨の報告があった。

⑥会社概況説明：柳澤日立事業所長より会社概況・茨城地区の各事業所のトピックス等のご説明をいただいた。

⑦米寿・喜寿到達者の紹介：当日出席の米寿・喜寿の方々の紹介があった。

5. 展示品の観賞：懇親会会場設営の時間を利用して、各同好会の活動状況の掲示と作品を展示して、皆さんに見ていただいた。

6. 懇親会：瀧澤副支部長の司会のもと、岩城秀夫氏のご発声で乾杯の後、懇親会が開始された。会員相互に近況、情報交換など、和気藹々とした雰囲気の中で楽しい 2 時間を過ごすことができた。最後に谷口監事のご発声で、「万歳三唱」を行って閉会、再会を約して散会した。



岩城氏のご発声により乾杯



谷口監事のご発声で万歳三唱

## 茨城支部からのお知らせ

### \* 第 67 期第 3 回 日立社友クラブ理事会報告

・会員候補者から 61 名が入会を承認され、本部会員総数は 7,142 名となった。

### \* 2018 年 6 月 茨城支部役員会報告

・新会員 4 名が承認され、6 月 22 日時点の支部会員総数は、1,038 名となった。今後とも OB 会等で入会勧誘を呼び掛けていただくことになった。

・昨年配信した茨ネット会員の欠席者の近況報告が好評だったので、今年も昨年同様に近況報告を茨ネットで配信することになった。

# 幼児施設経営に携わって思うこと

## 《子供のオーラは老化防止の特効薬》

江幡 敏夫



平成十五年五月に日立製作所日立事業所を定年退職後、縁あって保育園経営に携ることになりました。

会社生活の後半（昭和五十二年～）は、四期十六年間にわたり日立市議会議員として貴重な経験をさせていただきました。この経験が定年後に大きく実を結ぶことになりました。以下、定年後十三年間の保育園経営の経験を紹介することで、幼児教育の変遷を知っていただければ幸いです。

### Ⅱ 急激な待機児童増加への対策Ⅱ

平成十七年六月頃に日立市日高町にある「こどものいえ保育園」の女性園長（元職場の同僚）から相談を受けました。当時、保育園には「認可保育園」と「認可外保育園」の二種類があり、「こどものいえ保育園」は、認可外保育園でした。認可外保育園は、行政からの支援（補助金や給付金等）も少なく、行政は「金も出さないが口も出さない」と揶揄されていた時代で、保育園経営が危機的状況でした。日立市としても待機児童解消に頭を痛めていた時期でもありました。

このような状況の中で「こどものいえ保育園」を強化拡充することで保育園経営を立て直し、かつ北部地区全体の待機児童解消を図るために思いきって事業に着手したのです。社会福祉法人の設立や認可保育園への当時の対応は全て茨城県の許可可事項でした。まずは「こどものいえ保育園」の拡充計画書を茨城県へ提出、同時並行作業で新園舎建設計画書、事業資金計画書、補助金申請書等々、

膨大な提出資料となりました。許認可事業の手続きがもつと簡略化出来ないものかと痛感したものです。

### Ⅱ 定員六十名で新たなスタートⅡ

茨城県へ提出した各種の申請案件も全てが認可され、平成十八年四月一日、「こどものいえ保育園」は「社会福祉法人秀心会」の認可保育園（定員六十名）として、新たにスタートをすることができました。

年度末の翌年三月には七十名の園児を受け入れていました。これにより北部地区の待機児童解消に大きく貢献できたのです。保護者の方々や地域の皆様にも喜んでいただけたことが大変嬉しく思いました。



設立した認可保育園

### Ⅱ 認定こども園制度への移行Ⅱ

国の制度では、幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省の管轄と縦割り行政ですので、地方自治体も幼稚園は教育委員会、保育園は保健福祉部管轄と典型的な縦割り行政が続いていました。その結果、待機児童解消等の抜本的対策が遅れ、幼稚園は入園児が激減し存続の危機状態となる一方、保育園は、大量の待機児童を抱えて、保護者の要望に答えられない状態が続きました。

超少子化時代にどう対処すべきか、国の存亡が問われる事態となり、国家事業として「子ども・子育て支援新制度」を発足させたのです。官民挙

げて長い年月をかけて審議した結果が「認定こども園制度」です。これは、各省庁から幼稚園と保育園を切り離し、内閣府の中に「子ども局」を新設して幼児教育全体を統一した組織で対応することにしたのです。国の組織改革に合わせて茨城県と日立市も庁内に「子ども局」を新設し、施設運営者と共に準備を進めてきました。こうして、平成二十七年四月一日から全国の多くの幼児教育施設が「認定こども園」へ移行することになったのです。

「認定こども園」は、①幼保連携型認定こども園、②幼稚園型認定こども園、③保育所型認定こども園、④地方裁量型認定こども園の四種類に分類することができます。

「こどものいえ保育園」は、将来の発展性を考慮し、幼稚園機能と保育園機能の両機能を持つ「幼保連携型認定こども園」を選択し準備を進めてきました。そして平成二十七年四月一日から、より一層の待機児童解消に向け、定員を百十名に増員し「こどものいえ認定こども園」として再スタートさせたのです。

園児を入園させるに当たり保護者がどの施設を選ぶかは、母親の仕事の働き方、保護者の家庭環境、居住地域における施設の配置状況等を総合的に判断して日立市が決定します。子どもを預ける条件が大幅に緩和され、また、保護者負担の保育料が大幅に軽減されるなど、保護者にもかなり好評です。国会でも審議されている「働き方改革」と合わせて対応すれば、第二子、第三子を希望する保護者への大きな支援策となることも期待しています。

### Ⅱ 子ども達との触れ合いⅡ

私は、乳幼児から小学校入学前までの百三十一名の子ども達と、毎日楽しく過ごしています。自然との触れ合いとして、さつま芋とじゃが芋の植え付けから収穫までを園児にやらせています。泥まみれになって収穫する子ども達の喜ぶ姿を見るのが、私の老化防止対策の一つです。



子供たちと一緒に収穫

近隣にお住まいのお年寄りや園児達が触れ合うことを目的に開設した「シニアサロン」も毎週木曜日に開催しており大変好評です。子ども達はお年寄りが大好きです。お年寄りの経験や幼い頃のお話しを聞くのも大好きです。子ども達と遊び、一緒にお昼ご飯を食べ、夏祭りや運動会などの行事に参加してみませんか。子ども達もシニアサロンの日を楽しみにしています。是非一度お出かけください。子どものオーラは老化防止の特効薬です。



子供たちと楽しい触れ合い

### 江幡 敏夫氏 連絡先

〒319-1415 日立市相田町 3-25-25  
電話：0294-42-3000  
メール：ep1an-ebt@net1.jway.ne.jp

## リレー随筆 (64)

### ハーモニカ合奏を楽しむ 山田 稔



定年退職後受講した「ゆうゆうカレッジ」のクラブ活動の一環としてハーモニカ合奏をやらないかと誘われたのが発端であった。楽器演奏の経験のない仲間ではあったが15名でグループを結成し、週一回のペースで練習を始めた。半年後練習の成果を発表したくなり、某老人施設を訪問し演奏を行ったところ大変好評で喜んでいただいたため、月一回程度の訪問演奏をすることにした。約1時間程度の演奏会ではあるが中間に詩吟、民謡なども披露して楽しい会になるよう工夫している。演奏曲はまず取り組んだ地元出身の作曲家吉田正の歌謡曲、詩人野口雨情の童謡の他、リクエストをいただいた中から選曲している。プロジェクターでスクリーンに投影した歌詞を見ながらハーモニカ演奏に合わせて一緒に歌ってもらうようにした。演奏会が終わる頃には皆さんの表情も明るくなっているのがわかり、中には涙を浮かべている方もいて演奏する側にも元気をもらっています。施設以外の演奏活動



老人施設演奏会

としては交流センターの芸能祭、敬老会の余興、日立市民音楽祭、県北地区ハーモニカ同好会発表会、産業祭などに出演、本年7月現在演奏会は235回を超え、レパ

ートリーもジャンルを増やし80曲となった。

ハーモニカは18世紀の初め頃中国からシルクロードを経てヨーロッパに渡った“笙”が基になって1862年ドイツで現在の姿のハーモニカが誕生し(吸っても音を出す楽器は笙とハーモニカ共通)、日本には明治の中頃渡来したと言われている。現在では色々な種類が考案され一般的な複音ハーモニカの他、クロマチック、コード、バス、ホルン、10ホールなどのハーモニカがあり、楽譜としては一般的には数字譜が使われている。また演奏方法にはハンドカバー奏法の他、ヴァイオリン、マンドリン、ベース(大ベース、小ベース)、三度、五度、分散和音などの奏法があり、それぞれを組み合わせることにより独奏の場合でも多彩な演奏を楽しむことができます。ハーモニカはリード楽器ですから誰にでも吹けば正しい音程を出すことができ、小型で手軽に取り組める楽器ですし



県北地区ハーモニカ同好会発表会

腹式呼吸で肺の運動にもなりますので皆様も始められてはいかがでしょうか？

なお、9月29日(土)シビックセンター音楽ホールでプロのハーモニカ奏者による華麗な演奏と県北地区アマチュアハーモニカ合唱団有志70余名による大合奏(元H響指揮者半井氏の編曲、指揮)を披露する予定です。是非お出かけいただいてハーモニカの魅力を体験してください。

## 同好会行事に参加して

### 「デジカメクラブ」 藤原 延弘



私が写真に興味を持ったのは子供の頃で、夜の縁側をにわか暗室に仕立てて兄貴と写真の現像に挑戦したのが始まりです。入社当時の独身寮には暗室と引伸し機等の設備はありましたが、事情で写真趣味は封印しておりまして再開したのが退職後でした。フィルムカメラとデジタルカメラの世代交代の時期で、野鳥撮影に有利だとされるデジスコシステム(望遠鏡にデジカメを組み合わせて超望遠撮影する)の手作りに挑戦して以来「カメラ沼」にはまりました。その後、2004年頃にデジカメクラブに加入させてもらってから一気に写真の世界が広がり、各位それぞれの撮影に関する思い入れや工夫を伺い作品を鑑賞するのが楽しみで、かつ、貴重な糧になっております。旅行を兼ねた撮影会への参加や年2回の写真展に自分の作品を選んで出展するのも楽しみです。

### 「料理教室」 志田 統一



昨年、料理教室に入会させていただき、約1年が経ちました。朝9時半集合ですが、結構皆さん早く来て、コーヒーを飲みながら歓談するのが楽しみのようです。カップを人数分出して湯を沸かし、コーヒーを注いでゆく手際の良さに驚きました。先生の説明の後、料理に取り掛かるのですが、5~6人を1チームとして適宜分担

して進めます。たまに呼吸が合わず、手順が錯綜して期待通りの料理にならないこともありますが、それでも自分たちで作った料理は最高に美味しいと感じます。世間話や昔の仕事の話などに花を咲かせつつ、料理を味わいます。タッパーを持参して料理を少し持ち帰る方は奥様に自慢したい、あるいは孫にジジの手料理を食べさせたいのかな。後片付けもお手のもの、息の合った分担作業であつという間にきれいになります。「和気藹々と楽しく」をモットーに、これからもよろしくお願ひします!!



### 「旅行会に参加して」 山口 勇

10日も早く咲き始めたらあつという間に満開・葉桜へと変化が早く今年は花見宴会幹事泣かせの春であった。今回参加した日中線のしだれ桜(喜多方市)と鶴ヶ城の旅行会も10日ほど前倒しで実施された。喜多方のしだれ桜は東北一の花見所として人気があるとのこと。30年前日中線の廃止の跡地3kmに1000本の桜を植え育てたものだが、しだれ桜を選んだことの見込みがあつたと感心しました。地上にまで届くようにピンクの壁となり風で波打つようすは壮観であつた。人ごみに流されながらいつの間にか往復しており十分に堪能できました。あと10年も経つと大きく育ち桜のトンネルとなることを想像しながら後にしました。鶴ヶ城の桜は天守閣と桜、青空がよくにあう絵葉書風景に日本人として安堵を覚えたものでした。毎回最適な企画を提供していただく幹事に感心すると共に御礼申し上げます。

## 同好会の行事ご案内 (8月～10月)

### 1. 第77回研修会

#### 【国立天文台、国立極地研究所、深大寺】

東京都三鷹市の国立天文台と、立川市の国立極地研究所を見学し深大寺を参拝します(家族同伴歓迎)。

- ・開催日：平成30年9月18日(火)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大みか支店前) 7:00  
日立電鉄交通サービス南営業所 7:15
- ・帰着：大甕駅前 18:45頃予定
- ・会費：7,000円予定(バス代、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：8月6日(月)  
住所、氏名、電話番号を連絡下さい。
- ・申込先：奥村 清 Tel/Fax：0294-36-0308  
E-mail：kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

### 2. 第74回歩こう会【日立港周辺を歩く】

大甕駅前を出発し日立灯台から日立港の海岸沿いを歩きます。東京ガス基地見学もできます(Aコース)。

- ・開催日：平成30年9月21日(金) 雨 10月16日(火)
- ・集合：大甕駅東口運平堂駐車場 10:15
- ・Aコース：大甕駅前発→日立灯台→久慈浜海岸→久慈漁港→なぎさ公園→東京ガス基地(昼食&見学)→おさかなセンター着 15時頃解散予定(約8km)
- ・Bコース：スタートからなぎさ公園まで同じ(昼食)→おさかなセンター着 12時半頃解散予定(約4.5km)
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：平成30年8月31日(金)
- ・申込先：石橋 康正 Tel：0294-37-0439  
E-mail：yasumasa\_ishibashi@ybb.ne.jp

### 3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

| グループ名       | 連絡先   | 実施予定日(曜日)     |                      |                | 場所               | 時間                      | 備考                       |
|-------------|---|---------------|----------------------|----------------|------------------|-------------------------|--------------------------|
|             |   | 8月            | 9月                   | 10月            |                  |                         |                          |
| 野鳥・自然観察グループ | 本宮公夫 0294-42-3576<br>motomiyakm@kna.biglobe.ne.jp           | —             |                      |                | 栗原久慈川<br>赤羽緑地    | 9:00～                   | 参加費：¥300/回<br>原則雨天中止     |
|             |   |               | 24(月)                |                |                  | 29(月)                   |                          |
| 囲碁の会        | 日立地区<br>助川一弥 080-3443-3577<br>kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp | 8, 22<br>(水)  | 12(水)<br>大会<br>26(水) | 10, 24<br>(水)  | 大みか拠点            | 10:00～<br>(大会<br>9:30～) | 参加費：¥100/回<br>大会：¥1000   |
|             |   | 24(金)         | 28(金)                | 26(金)          |                  |                         |                          |
|             | 勝田地区<br>七海 清 029-273-8450<br>fwny8718@mb.infoweb.ne.jp      | 16(木)         | 20(木)                | 18(木)<br>大会    | 大島コミュニティセンター     | 9:00～                   | 参加費：¥200/回<br>大会：¥700    |
| 料理教室        | 澁口七郎 0294-43-5134<br>s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp           | 12(日)         | 9(日)                 | 22(月)          | らぼーる<br>ひたち      | 10:00～                  | 参加費：¥1700/回              |
| 卓球クラブ       | 長瀬寿美雄 0294-53-8235<br>cho_san@estate.ocn.ne.jp              | 1, 8<br>22(水) | 5, 12<br>19(水)       | 3, 17<br>24(水) | 会瀬体育館            | 9:00～<br>12:00          | 参加費, 会場費等<br>まとめ：¥4500/年 |
| デジカメクラブ     | 溝口忠憲 029-219-6576<br>mizogut@beach.ocn.ne.jp                | 6(月)          | 3(月)                 | 1(月)           | 大みか拠点            | 10:00～<br>15:00         | 参加費：¥1000/回<br>昼食代含む     |
| 写真五七五       | 細江 徹 0294-42-9126<br>Tohru92@road.ocn.ne.jp                 | 3(金)          | 7(金)                 | 4(木)           | 大みか拠点            | 9:00～<br>12:00          | 参加費：¥300/回<br>昼食別途       |
| パソコングループ    | HPの会<br>中村 進 0294-52-5525<br>ssm2332@knh.biglobe.ne.jp      | 9(木)          | 4(火)                 | 2(火)           | 大みか拠点            | 10:00～<br>15:00         | 参加費：¥200/回<br>昼食別途       |
|             | 基礎講座<br>安田 出 0294-37-1959<br>yasuda@i.email.ne.jp           | 7(火)          | 11(火)                | 9(火)           | 大みか拠点            | 10:00～<br>15:00         | 参加費：¥1000/回<br>昼食代含む     |
|             | 勝田地区<br>佐々木六漏 029-275-2567<br>sasak6318@nifty.com           | 28(火)         | 24(月)                | 23(火)          | ひたちなか市<br>ワークプラザ | 13:15～<br>16:00         | 参加費：¥700/回               |
|             | Google活用講座<br>安田 出 0294-37-1959<br>yasuda@i.email.ne.jp     | 23(木)         | 27(木)                | 25(木)          | 大みか拠点            | 10:00～<br>15:00         | 参加費：¥1000/回<br>昼食代含む     |

注) 旅行会(連絡先：安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

| 訃報     | 衷心よりご冥福をお祈りいたします。 |        |    |     |
|--------|-------------------|--------|----|-----|
| 一ノ瀬 勝  | 平成29年             | 5月25日  | 享年 | 75歳 |
| 大国 厚彦  | 平成29年             | 10月12日 | 享年 | 77歳 |
| 石川 精二  | 平成30年             | 1月23日  | 享年 | 87歳 |
| 佐藤 健市  | 平成30年             | 3月6日   | 享年 | 84歳 |
| 鈴木 二郎  | 平成30年             | 3月10日  | 享年 | 73歳 |
| 高橋 豊直  | 平成30年             | 3月20日  | 享年 | 86歳 |
| 鈴木 勝美  | 平成30年             | 4月17日  | 享年 | 80歳 |
| 佐々木 荘二 | 平成30年             | 5月7日   | 享年 | 87歳 |
| 石川 武重  | 平成30年             | 5月10日  | 享年 | 92歳 |
| 大友 元三  | 平成30年             | 6月14日  | 享年 | 81歳 |
| 久保 英章  | 平成30年             | 6月20日  | 享年 | 83歳 |
| 富張 安司  | 平成30年             | 6月21日  | 享年 | 79歳 |

**編集後記** 江幡さん、幼児教育の変遷、理解しました。日本の少子化の問題でも、共働きの中での子育ての負担低減のための「こども園」の増加、在り方が大切。子どもの教育、およびお年寄りが元気をもらう「シニアサロン」の発想もいいですね。山田さんの老人施設、交流センター、敬老会等でのハーモニカ演奏会。皆様に大変喜んでいただいているボランティア活動、素晴らしいですね。9月29日(土)のハーモニカ合奏演奏会さらに観客が増えるでしょう。

谷口 正俊